

湖山池ナチュラルガーデン 晴れらかだより 秋号

みなさま大変長らくお待たせいたしました。昨年の都市緑化とっとりフェアの会場となった湖山池公園東側湖畔エリアが、いつでも利用できる空間として再オープンいたしました。ナチュラルガーデンの北側には芝生と土の多目的広場を、南側には芝生広場とさまざまなコンセプトガーデン、さらにその先には協働でつくる花壇エリアを新たに整備しました。

朝晩すっかり寒くなってきて、体調管理が難しい季節です。庭も衣替えが進んでおり、夏の花が終わり、秋の花が見られるようになってきました。昨年の都市緑化とっとりフェアのシンボルフラワーであったサンインギクも咲き始めています。また、庭園の植物も紅葉（こうよう）の季節です。草花にも「草紅葉（くさもみじ）」といわれ、樹木と同じように赤くなるものがあります。花とは違った彩りを是非ご覧になって下さい。

今回は庭園内にある野菊を紹介します。野山やあぜ道などで馴染みのあるキクを見ながらのんびり散歩などされてみてはいかがでしょうか。



サンインギク



ヨメナ



タルマキク



ハマヘノキク



ノシキク



ノコンキク



シオン



ハマキク



コンキク



サンインギク（一）



リュウノウキク



イソキク



キヨスミノコンキク



シロヨメナ



とっとり晴れやか庭園 豆知識

ここでは制作中のエピソードの一部を紹介します。次号以降もちょっとずつ掲載予定です。

その7：四阿のデザインの豆知識

四阿(あずまや)というのは庭の中で休憩などをするための小さな建物のことです。その中でも西洋風のをガゼボと呼びます。

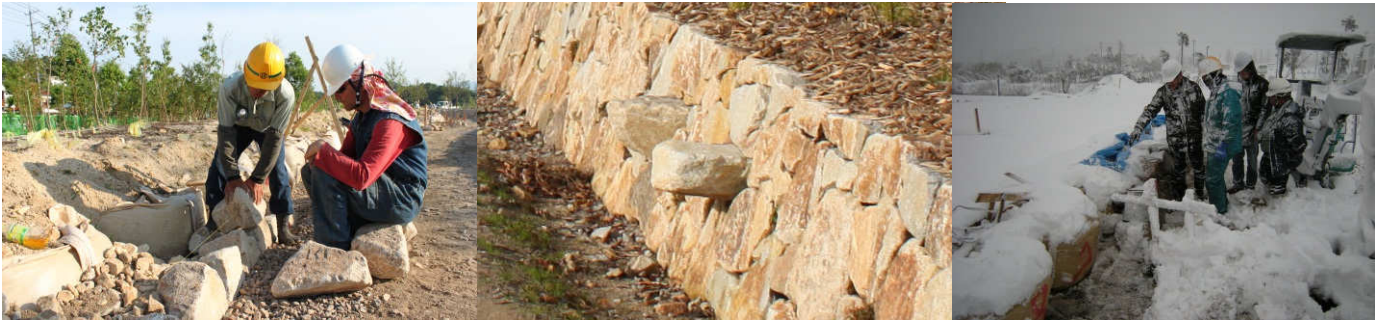
柱の形状を、丸型や四角型ではなく、六角型にしている。ここにもポールさんのこだわりがあります。ベンチを設置するにあたっての端部の納まりの施工性を考慮し、かつ全体的なフォルムを考え、少しやさしい丸みを持たせながらも、屋根の八角形と関連して角を出すというコンセプトのもと、六角柱にしています。是非、緑に溶け込んだ優しいフォルムのガゼボで休息し景色を眺めてみてください。

その8：石積みの豆知識

石積みの石材の産地は、鳥取県鳥取市細見産です。

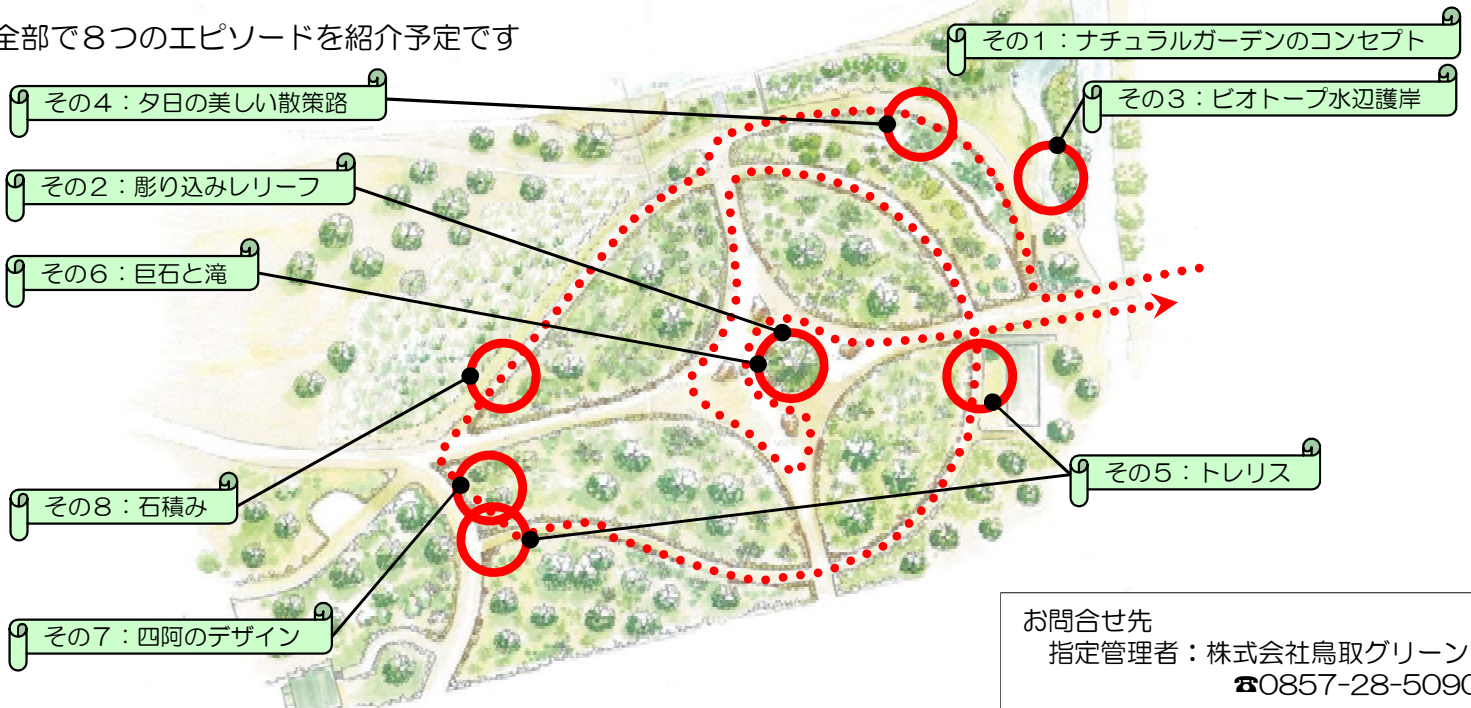
鳥取城の城壁をモチーフに、石職人の方々が1個ずつ石の合場(あいば)に合わせ、石の角を落としながら、こつこつ1段ずつ積みます。ポールさんと職人さんががやり取りをしながらイメージに合う石積みをつくります。施工途中、猛吹雪の中、ポールさん指導の下、石職人さんが苦勞しながら石を積んでいたのが印象に残っています。さすがのポールさんも悲鳴を上げていました。

モルタルを出来るだけ使わない工法で施工しているので、石の目地部に植物を植えることが可能になりました。また、石職人の遊び心で、湖山池に向かって突き出した石材を一人用のベンチにしています。眺めは最高です。是非座って頂き、植物越しの湖山池を眺めてみてはいかがでしょうか。



庭園ぐるっと一周お勧め散策順路

全部で8つのエピソードを紹介予定です



お問合せ先
指定管理者：株式会社鳥取グリーン
☎0857-28-5090

発行：鳥取市役所 都市環境課
☎0857-20-3252

★鳥取駅より車で20分 ★鳥取大学前駅より徒歩10分
★鳥取駅から路線バスや観光周遊バス(土日祝のみ)が出ています。